

平成 23 年 1 月 19 日

陳 捐

「中国と日本の漢字について」

日本と中国はどちらも漢字を使う国のため、そのことにより両国の交流に大きな影響を与えました。多くの漢字が日本語と共通しており（例えば「心」、「四季」、「大学」、「高速道路」、「散歩」、「健康」など）、お互いの会話がなくても筆談により、ある程度の意味の疎通が可能です。

日本を訪れる中国人にとって、日本語の熟語は中国で使用われているものと多少異なっても漢字から意味が解るものが多く、例え日本語がまったく解らなくても、漢字の説明があれば理解し行動できます。例えば、「電車（中国語：火車）」や「地下鉄（中国語：地鐵）」と表示があれば交通機関が利用できますし、「肉」「魚」「茶」「中華」「野菜の炒め物」でも食事の注文ができます。また、病気の場合も「病院」や「薬局」で何とか対処することができます。

しかし、日本語の漢字は千年も前に中国から伝わったため、同じ漢字であっても全く意味の異なるものも沢山あります。例えば、中国語の「湯」は「スープ」の意味ですので、日本の温泉で「女湯」「男湯」の案内と見ると、スープに男女の区別があるのかと不思議に思いますし、「銭湯」も「お金のスープ」？と想像してしまうでしょう。また「娘」は母親の意味なので、「16歳の娘がいます」と自己紹介されるとびっくり仰天するでしょう。

さらに別れの場面で「手紙を送ります」と言われると、なぜ「トイレットペーパー」を送るのだろうと頭の中は？マークでいっぱいになります（「手紙」は中国語で「トイレットペーパー」の意）。

一方、中国を訪れる日本人にとっても、中国語ができない場合、筆談で誤解を招くような漢字があります。「先生」の使い方についての相違はよく知られていますが、配偶者を「愛人」と紹介されてもびっくりしないように。

日本でいう「愛人」とは異なり、「正式な奥さん」のことを指します。また奥さんの紹介で、中国人が「愛人料理家務」と書いても、奥さんが料理と家事をしますと言うことでなく、単に「家事をする」という意味になります。「料理」はご飯を作るという意味ではなく「処理する」という意味ですので、「料理後事」というのは「死後の後始末をする」の意味になります。そのほか「熱？（熱いですか？）」と聞かれるのは、病気の熱を意味するのではなく「暑いです

か？」ということですし、「行」というのは承諾の意味（日本語で「行く」というのは「去」）です。さらに「去看病」は誰かを看病するという意味ではなく、医者に診察をしてもらうことですし、「結束」は結ぶことでなく終了という意味だったりします。中国では「姉」「咲」「渕」「峠」「込」のような漢字はありませんので、筆談でも通じません。

このように、お互いを理解しているようでも、思わぬ誤解や失敗につながることもあります。そうそう、誤解という言葉も中国語では「誤会」でした。皆さん、もう一歩踏み込んで言葉の意味を勉強すると面白いと思いますよ。